

船舶事故等調査報告書

平成24年4月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第2号	
事故等種類	浸水	
発生日時	平成23年7月29日 03時30分ごろ	
発生場所	福井県坂井市福井港沖 坂井市所在の雄島灯台から真方位338° 10.8海里付近 (概位 北緯36° 25.2′ 東経136° 02.0′)	
事故等調査の経過	平成24年1月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 ^{たい} 田井丸、14.98トン	
船舶番号、船舶所有者等	FK2-2234（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	発電機及び主機セルモーター焼損、主機クラッチの潤滑油に海水混入	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか5人が乗り組み、福井港沖の漁場での操業を終えたのち、甲板を洗浄するために雑用水ポンプを運転して帰航中、平成23年7月29日03時30分ごろ、甲板に海水が出てこないのを不審に思った乗組員が、機関室を点検したところ、同ポンプ出口側の直径約4cmのゴムホースの縦方向に長さ約10cmの亀裂が生じて海水が噴出し、発電機に降りかかって主機台板近くまで浸水しているのを発見した。</p> <p>船長は、水中ポンプ及びビルジポンプで排水中に電源の供給が途絶え、自力航行不能となったので近くを航行中の僚船にえい航を依頼し、乗組員にバケツでの排水を継続させた。</p> <p>本船は、僚船にえい航され、07時00分ごろ福井港に帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ</p> <p>海象：波高 約0.5～1m</p>	
その他の事項	<p>本船は、本事故前の操業終了時に甲板員が雑用水ポンプを止めたとき、同ポンプの吐出弁を閉めたが、他の甲板員が雑用水ポンプを起動したとき吐出弁を開けていなかった。</p> <p>雑用水ポンプ出口側のゴムホースは、平成22年7月に新替えされていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、雄島灯台北北西方沖を航行中、雑用水ポンプの吐出弁を閉めた状態で同ポンプを運転し、同ポンプ出口側のゴムホースに亀裂が生じたことから、機関室に浸水したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が、雄島灯台北北西方沖を航行中、雑用水ポンプの吐出弁を閉めた状態で同ポンプを運転し、同ポンプの出口側ゴムホース	

	に亀裂が生じたため、機関室に浸水したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・雑用水ポンプを運転するときは、弁の開閉状態を確認すること。